

一般社団法人日本粘土学会 2022 年度臨時理事会議事録

日 時：令和 4 年 5 月 14 日（土）13:00～14:10

会 場：Zoom 会議室

出席者：理事（23 名）小暮敏博、千野裕之、中川昌治、佐藤 努、會澤純雄、井出裕介、伊藤健一、上原元樹、小口千明、亀島欣一、黒田義之、笹井 亮、地下まゆみ、鈴木正哉、鈴木康孝、高木慎介、中戸晃之、日比野俊行、宮元展議、三好陽子、毛利恵美子、横山信吾、鈴木憲子

監事（2 名）：月村勝宏、志々目正高

オブザーバー：藤村卓也

理事以外の常務委員（4 名）：川俣 純、森本和也、佐久間博、樽田誠一

事務局：川島朝子

成立確認：理事総数 27 名の半数 14 名、出席理事 23 名で理事会の開催は成立

審議事項

1. 第 65 回粘土科学討論会における懇親会ならびに開催形式について

笹井実行委員長より画面に共有された資料をもとに以下のような提案があった。

(1) 懇親会について

現時点では会場となる施設が開催を可とするならその運用に従い開催する方向で準備を進めているが、今後のコロナウィルスの感染状況では変更を余儀なくされる場合がある。懇親会費振込後に中止となると返金手続きが生じるので、参加申し込みの際には懇親会への出欠のみを登録してもらい、懇親会費は討論会当日に総合受付で支払ってもらおう。懇親会場のキャンセル料は開催日より 20 日以前であれば発生しないので、開催の決定は本年 8 月 13 日開催予定の第 4 回理事会で決定したい。なお、支払い方法の変更などについては、笹井実行委員長が文面を作成し、関係者の確認後ホームページやメールで会員に周知したい。

(2) 討論会の開催形式について

現時点では口頭・ポスター発表共に現地で対面のみで開催として準備をしているが、今後のコロナウィルスの感染状況により以下の様な別形態での開催の選択肢として検討したい。

① 口頭発表は現地とリモートのハイブリッド、ポスター発表はオンライン

② 全てオンライン

また、このような選択肢の可能性について本年 7 月 23 日および 8 月 13 日開催予定の理事会で審議したい。

以上 (1)、(2) について審議の上、承認された。

なお、(2) の議論の過程で、コロナウィルスの感染状況に関わらず、参加者を増やすためにもハイブリッド形式を取り入れることを検討してはどうかという意見も出されたが、本年度はすでに告知していることもあり、そのような理由での開催形式の変更は行わず、来年度以降の討論会に向けての検討事項とすることになった。

2. 名誉会員の推薦について

佐藤常務委員長より、井上厚行シニア会員の名誉会員への推薦があった。小暮会長から2005年のICCにおいてChairを務められたことも推薦書に追加することが要望され、満場一致で名誉会員への推薦が承認された。

3. その他

小暮会長より、自分がAIPEAのNomenclature Committeeの委員を2025年まで続けたい旨の説明があり承認された。

報告事項

1. 第65回粘度科学討論会シンポジウムについて

森本企画委員より画面に共有された資料をもとに説明があった。「粘土科学における最新の計算予測、現象理解の深化」というタイトルで5人の講師を招聘し、内諾済であることが報告された。また今後のスケジュールについて説明があった。

2. 印刷費の値上げについて

日比野編集委員長より、国際文献社から原材料費の値上げにより印刷価格改訂のお願いがあり承諾したとの報告があった。値上がりしている部分の詳細についての質問があり、事務局から主に紙と原版の金属の高騰によるものと説明された。また佐藤常務委員長より、今回は値上げの幅が小さかったため、会計委員、編集委員長の同意を経て承諾をしたとの報告もあった。

3. その他

特になし。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び監事がこれに記名押印する。

令和4年5月21日

一般社団法人日本粘土学会 理事会

代表理事（会長） 小暮敏博 ⑩

代表理事（副会長） 中川昌治 ⑩

監事 月村勝宏 ⑩

監事 志々目正高 ⑩